

<めざす生徒像>

校長 浅香 健一郎

いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒

10 中学校給食スタート!



1月14日(火)より、中学校給食が始まりました。楽しみにしていた生徒も多く、配膳からいただきますまで、クラスで役割分担をして和気あいあいのムードで進んでいるように感じています。

中学校の先生たちは、未経験ですので、大人の方が給食運営について、構えている部分がありました。いざ始まってみると、小学校で経験している皆さんの方が慣れた手つきで、スムーズに準備できていましたね。

保護者の方にとっても、朝のお弁当づくりからやっと解放された〜!さらに中学生は無償だ〜!という声を少なからず聴いており、ご家庭の負担軽減にも大きくつながっているのではないのでしょうか^^。



20 部活駅伝

1月22日(水)部活駅伝を行いました。冬にしては比較的暖かい天候の中、女子・男子のレースに分かれ、エントリーしたチームで結束し、しっかりと走り切りましたね。

何よりもランナーに向けての声援が温かく、肌寒い風に負けそうになる場面でも、仲間からの声援のおかげで最後まで頑張り切れたランナーもいることでしょう。本当にお疲れさまでした^^。



3 3年生学年末テスト

3年生のみなさんにとって、1/22(水)～24(金)中学校生活最後の定期テストです。真剣な眼差し、ムードがそこにありました。試験が終わっても、ホッとできる心境じゃないなあというのが、本音だと思います。2月には私学入試、公立特別選抜、3月には公立一般入試と、4月からのそれぞれの進路が決まってくる大事な時期になりました。

不安や焦りがプレッシャー・ストレスとなり、これらの対処の仕方にも苦勞したり、困っている人もいることでしょう。全国の中3の誰もが通る道です。あなた一人だけではありません。

不安や焦りを抱えるみなさんへ、一言だけ。「大丈夫」。

先日、そう念じながら入学願書(私立)に学校長印を押しました。



「自分を落ち着かせること。」、簡単そうに聞こえるけど、それが難しいと思っているキミへ。

難しく考えているのは自分自身です。今までキミがやってきたことを恥じる必要はありません。多くの人々が緊張と隣り合わせで今をむかえています。だから、不安なときや焦るときは、まず深呼吸。そして自分自身に大丈夫と言ってあげてください。大丈夫じゃなくても、大丈夫と。

4 2月・3月の主な予定

【2月-February-】

- ・10(月)～11(祝火)3年私学入試
- ・10(月)新入生説明会
- ・19(水)～21(金)1・2年学年末テスト
- ・19(水)～26(水)3年公立懇談



【3月-March-】

- ・7(金)PTA総会
- ・12(水)3年公立一般入試
- ・14(金)卒業証書授与式
- ・24(月)修了式



中学校給食が始まった1月を経て、早いもので2月を迎えました。そして、3年生は『進路』の真っ只中。自分が夢見る進路にむけて、学校での日々の勉強に、自分なりのさらなる勉強という努力を重ねている人がとても増えているように感じます。

…そんな努力をしている3年生に感化されて、『努力』というものについて、考えてみました。今回は校長先生の実体験を踏まえて、少しでも参考になれば…という思いをしたための応援的コラムです^^。

さて、校長先生は始業式などの集会で、今までみなさんに『努力を続けましょう。』と何度か話してきました。正直に言います。私にも、努力しようと思ったけど、続かなかった努力、見事な三日坊主で終わった努力が山ほどあります。偉そうに話して、ごめんなさい<(_ _)>。

続いた努力もあるのですが、たくさんの続かなかった努力があります。今回はそれらを整理してみました。

－ 続かなかった 努力 －

●ダイエット編

・ジムでトレーニング…たまあ〜に行きますが、持ち前のズボラさを発揮して、ほとんど行けていません。

・食事制限ダイエット…結局空腹には耐えられず、食べてしまいます。食欲に連敗中です。

・微生物ダイエット…ヨーグルトのようにお腹に良い菌を摂取しましたが、次の日お腹くだしたので、やめました。



●勉強編

・中学生のころ、定期テスト2週間前からテスト勉強ははじめようと思っていましたが、遊びたい気持ちに負け、変な言い訳を自分でつくり、実践できませんでした。



・高校入試を控え、苦手な教科を今夜こそ取り組もうと決意する日々。結局勉強したといっても、得意な教科を中心に勉強していたので、課題克服にはつながらなかった。



●日常生活編

・結婚前に、お皿洗いは俺がすると豪語しましたが、現状毎日できておらず、情けない日々を送っています。

・子どもが生まれたらやめると言っていたパワプロのアプリをいまだに消せず、卒業できていません。

— 続いている 努力 —

●ダイエット編

・5km ジョギング・・・毎日ではないですが、毎年の健康診断前の2・3か月は、走れています。

・毎日の自転車30分×2。(自宅⇄学校の行き帰り)



●勉強編

・教員になろうと、大学1回生の終わりに決意しました。そこから4回生での採用試験まで、寝る前に1日5分は教育関連本を読むと決め、毎日続けることができました。

●日常生活編

・時事関連ニュースは、朝晩の歯磨き中の5分間×2で、テレビとyahoo ニュースで毎日把握。

・自宅⇄学校の行き返りの自転車中30分×2に、時事的な教育関連事項を頭の中で、自分の考えとして整理している。(このコラムの内容とか式で話す内容とか考える時間にしています。)

続かなかった努力と、続く努力を、上記のように整理してみるとわかってきたことがあります。

努力が続くか、続かないかの明暗を分けているものは、「過酷さ」ではないということです。

エビデンス=浅香になり申し訳ないですが、皮肉な結論となります。



「意志に委ねた努力は続かない。」 「仕組みに委ねた努力は続く。」

と整理できるのではないのでしょうか。

そして、まとめます!!

さあ、これから努力をしつづけようと思っているみなさん。『続く努力』を設計するためのコツです。

●生活動線上で、組まれた努力は続きやすい。

●やらざるを得ない環境をいつ、どう創るのか。

この辺りを押さえながら、「努力」を設計すると続く可能性が高くなるのではないのでしょうか。